

広報とうかい 人・自然・文化が響き合うまち Tokai

October [No. 692]

10・10

Bi-monthly Magazine
for The People of Tokai

2002年[平成14年]

Contents [10月の主な話題]

●村政懇談会……………2

住民参加のまちづくりを
実現するために

●字の区域および名称の変更……………8

住居表示事業実施に伴う快適な生活

●文化財保護強調週間……………9

文化財に対して愛する気持ちを

●ず〜むあっぷ「まちの風景」……………10

●青少年育成体験記(PART.31)―[白方]酒井光恵さん……………12

PTA活動にかかわって

●今どきの青少年(VOL.41)―[村松]廣木茉冴さん……………13

ほっとではあとな体験キャンプに参加して

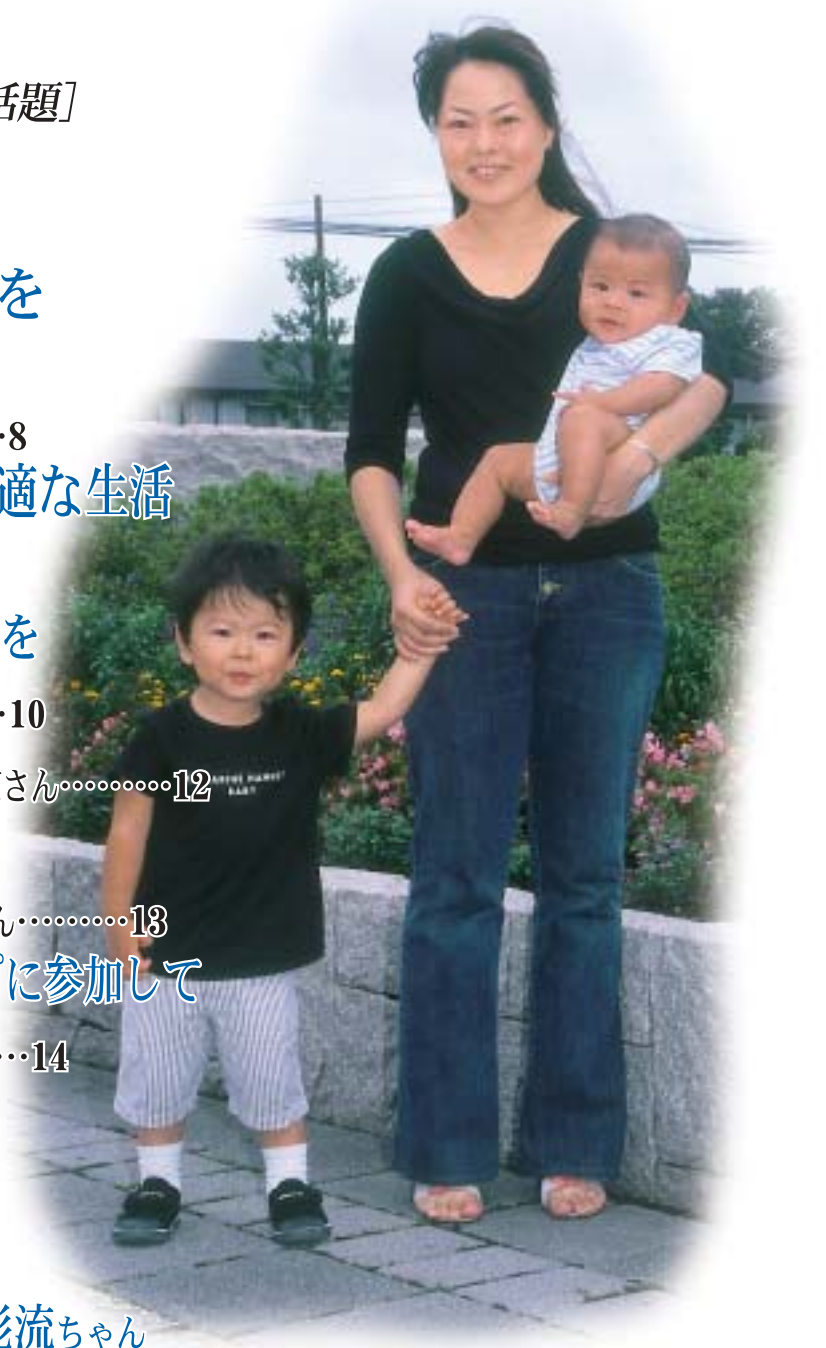
●であいふれあい ささえあい……………14

●図書館トピックス……………15

●いんふおめーしょん……………16

●わが家の子育て奮戦記……………20

[照沼] 平野純子さん・麗斗ちゃん・彪流ちゃん



住民参加のまちづくりを実現するために 村政懇談会開催



村では住民参加型の行政を目指して、村民の皆さんに主要施策の概要を説明した上で、村長をはじめとする村執行部との質疑応答の機会を設けようと、各コミュニティセンターで村政懇談会を開催しました。四回目となる今回の村政懇談会は、行政と地域がより気軽に意見交換ができるようにと、地元区長に司会を依頼したほか、また、質疑応答の前には各地域の地区委員会によるまちづくりの報告を行いました。今月号では、懇談会で出された主なご意見やご要望をご紹介します。

主要施策の概要(村長説明内容)

村政について

現在の村政の基本理念・スローガンは、とう
かい二十一世紀プランで掲げている、人・自然・
文化が響き合うまちであり、人と環境を優先に
した行政を進めていこうと考えています。そこ
で、行政の三本柱として福祉(保健・医療)・教
育・環境(農業問題)が位置付けられます。これか
らの村政は、国・県に向けていた役場の視点
を、住民に向ける方向に転換していきます。地
方分権を支えるのは行政ではなく、住民であり
男女共同参画であるという意識の下で行政組織
も変えていきます。昨年、縦割り行政の改革と
平成十七年度の東海病院の改築・拡充を目指し
て、政策審議室を設置しました。また、自治推
進課を設置して地域活性化を推進するととも
に、職員能力の開発、組織改革のために総務課
から人事係を切り離し人事課へ格上げさせまし
た。さらに今後は、人員を増やしながら社会福
祉協議会の組織強化も図っていこうと考えてい
ます。また、福祉コミュニティづくりを社会福
祉協議会と福祉課で協議しています。

これからの地方自治体について

今後の地方自治体は、今までのように国に頼
る、中央から企業や施設を呼んで地域を活性化
するといった考えから脱却し、自分たちの力の
源泉はどこにあるかということを考えてまちづ
くりが必要です。そのためには、自治能力・地
域コミュニティをしっかりとしたものにしなけ

ればなりません。自治体の体力を付けるとい
う名目で合併が進んでいますが、根本は行政改革
を受けただけで、合併後のイメージが浮かんで
きません。現在の村の人口は約三万五千人。財
政は長期的にも百三十〜百五十億位の予算規模
を維持し、私たちの自治能力次第で自立してい
くことは可能だと思います。「合併しない」と主張
するだけではなく、自分たちの自治能力をどう
高めていくかを考えていく必要があります。

福祉について

村の福祉水準は茨城県一を目指しており、実
際、さまざまな面で県のトップクラスにいま
す。しかし、茨城県の福祉レベルは非常に低い
のが実情です。そこで私たちがその先頭に立
ち、全体の福祉レベルを上げていきたいと思
っています。私たちがさらに上のレベルを目指
した場合、少子・高齢化に向けた備えが不十分
です。何かあったときに、お年寄りをケアする
ような住宅がありませんので、民間の力、知恵
を借りながら進めていきます。老人ホームも充
足させ、同時に高齢福祉の質を上げていこうと
思います。また、今後はバリアフリーのまちづ
くりを展開します。側溝付きの新しい道路を畑
の中に造ることよりも、歩道など人・車いす・
自転車を中心とする道づくりを考えています。

子育てについて

子育ては、特に働く女性にとって非常に大変
になっていきますので、今後は行政でサポートし
ていくことが大事です。また、最近村は、子育
てがしやすいまちという評判が立ち、転入して

くる人も多くなり、各保育所の定員を二十五パーセント増やしても、待機者が二十人もいるような状態です。村では施設の充実を考えていますが、もし民間で開設したい方がいたら、行政としても支援していく考えです。

教育について

教育については、村の水準は相当高いといわれており、先進的な試みも行っていますが、さらに今後は、地方分権に合った教育の推進体制を構築していく必要があります。

環境について

環境については、施設整備の面では進んでいました。今後はごみを減らすことと、資源ごみをリサイクルするという循環型社会を構築することが必要ですので、自然エネルギーの利用やゼロ・エミッション（完全循環型の生産システムを構築し、廃棄物をできるだけゼロにすること）の方向性を進めていきます。また、「とうかい環境フェスタ二〇〇二」の開催に伴い住民参加の新しい形態が生まれれば、と願っています。

農業について

農業についても、重要なのは住民の参画です。非常に進んだ環境政策を行っているところの事例としては、政策を立てるために住民を公募し、それを行政が支えています。今後は、いわゆるカップリング政策（減反をすれば金を出す）から、先進的農業には直接所得補償をする政策など、つまり生産者の所得を支持する政策、デカップリング政策に変えていきたいと考えています。

各地区ごとの地区委員長からの報告

白方地区（梅津秀雄副委員長）

白方地区の地区別計画は、全部で三十二項目あり、そのうち地区で取り組めそうな項目として十七に絞り込んでいます。そしてこの十七項目については、総合計画の基本計画の中の六つの柱、例えば「安心して住めるまち」「支えあつていきるまち」などに沿って三つのグループ分けを行い、議論を進めています。また今年三月には、現状把握のため地区内のウォッチングを実施するなど、積極的に取り組んでいます。

舟石川地区（岩谷豊委員長）

舟石川地区は、自然に恵まれた活力のまちとして十年計画を策定しています。それを踏まえて委員会が昨年六月に発足しました。約二カ月に一度集まりながら、今後の活動の方向性を話し合っています。具体的には、ウォーキングコースの検討や水神堂ため池のサワギキョウについて勉強会等を実施しました。今後も地区委員会活動を進めていきたいと思っていますので、よろしくお願いします。

村松地区（照沼忠徳委員長）

平成十一年から二年間にわたってまとめた地区別計画の三十二項目を、村独自、村と住民がタイアップして行うもの、住民が単独で行うものという観点で整理し、地域住民でできる項目を十六に絞りました。具体的な活動計画としては、歴史講演会の開催や地域のクリーン作戦の実施などです。皆さんの協力を得ながら進めて

いきたいと思っています

中丸地区（須田秋夫委員長）

中丸地区の今後十年間の課題は、十四項目あります。現在は活動段階に入り、地区の名前を「緑豊かな中丸地区を作る会」としました。「今ある自然を大切に」ということを中心に考えるところにも、委員の共通認識を図ることや交流を深めるために五月末には、地区内ウォッチングを実施しました。今後、中丸コミュニティセンターを基点としたウォーキングマップの作成を軸に活動を展開していきたいと思っています。

真崎地区（須藤佐武委員長）

真崎地区では、行政が主体的に行う仕事、行政に住民が参画するもの、住民が主体的にまちづくりをするもの、という三つの観点から検討してきました。まちづくりの一番の基本である地域の連帯意識の高揚を図りながら、地域の住民が安全に安心して住め、高齢化を迎えたときに、この地区に住んで良かったと思えるようなまちづくりをすることが大切だと考えています。

石神地区（宮本茂委員長）

石神地区では楽しいものから、できるものから実施しようという考え方で進んでいます。自然・環境、歴史、福祉の三つのグループをつくり、地区内ウォッチング、石神城址や福祉の勉強会などそれぞれに取り組んでいます。また、地区委員会の活動を地区内に周知するために広報紙の発行も行いました。今後、皆さんとともに、「元氣な活気のある楽しい地区」といわれるような石神地区にしていきたいと思っています。

白方小学校区



期 日 7月29日(月)
 時 間 午後7時～9時
 場 所 白方コミュニティセンター
 参加対象 白方区、豊岡区、岡区、百塚区、
 亀下区、サイクル機構百塚区、豊白区の住民
 参加者数 39人

岸さん(白方)：今後さらに高齢化が進んだときに、村はどのように対応していくかが問題になると思います。地域でカバーしなければならぬ問題等の取り組みについてお聞かせください。

村長：今後、高齢者を介護する老人ホームの在り方は一人に対して一部屋、そして一人の介護者が必要になってくると思います。現在は人・施設・組織が不十分なので、高齢者福祉計画推進委員を住民から公募して高齢者福祉計画を策定していきます。

福祉部長：現在、村では介護保険事業計画と高齢者保険福祉計画を合わせた高齢者福祉計画を作るため、十九人の委員に協議してもらいながら策定作業を続けています。村の介護保険料は月額千九百四十円です。これは県内でも下から十数番

目と安いですが、決して自慢できるものではありません。サービスの充実に伴い介護保険料は必然的に高くなるといえます。村でどのぐらいのサービスを考えて、どのぐらいの保険料を皆さんに負担してもらうか、委員の方々に十分議論してもらいたいと思っています。

清水さん(百塚)：私の周囲では電動車が乗っている高齢者が徐々に増えています。昨年の建設部長の説明では、日立・東海線もみじ通りの拡幅はできないということでしたが、電動車いすは道路交通法上、歩道を走らなくてはなりません。しかし、歩道が狭い場合は、車道を走ることにならざるを得ませんが、万が一事故にあった場合、走るときを走っていない電動車いすを利用していただけたいと思います。

建設部長：日立・東海線の整備は、国の補助を受けて造っており、構造は予算が計上された当時の国の基準に従って造ったものです。日立・東海線を歩行者、特に高齢者にとって通行しやすい道路にするには方法が二つあります。まず、車道を歩道の位置まで高くすること。しかし、相当の費用が掛かります。もう一つは、歩道を下げれば良いのですが、隣接する店や住宅と段差が生じてしまいます。日立・東海線の幅員は計画決定十六メートル道路のところ、現在、暫定十二メートル道路で整備されています。計画どおりに整備されれば三・五メートルの歩道ができますが、この見通しが立っていません。現在、歩道の改修方法を検討中です。

舟石川小学校区



期 日 7月30日(火)
 時 間 午後7時～9時
 場 所 舟石川コミュニティセンター
 参加対象 舟石川1区、舟石川2区、船場
 区の住民
 参加者数 39人

川崎さん(舟石川)：村道二〇八四号線の進捗よく状況等についてお聞かせください。

建設部長：この道路については大半の地権者の方の了解を得ていますが、了解を得られない方もいます。村としては了解が得られる範囲で整備を進めていくために、近々変更工事説明会を行います。その説明会で了解が得られれば、用地買収に入りたいと考えています。

佐藤さん(舟石川)：村の審議会・委員会等については原則公開としてはどうでしょうか。

村長：原則公開が今の時代の在り方だと思えます。個人の利害に関することやプライバシーに関する問題、政策形成過程の問題は別ですが、できるだけ情報公開の方向で進めていきます。

青木さん(舟石川)：村の中をもう少し静かにしてほしいです。夏は暴走族の騒音で眠れなくなるので、静寂地域等を設けてほしいと思います。

照沼小学校区



期日 7月31日(水)
 時間 午後7時～9時
 場所 村松コミュニティセンター
 参加対象 宿区、川根区、照沼区、サイク
 ル機構太田区・箕輪区、晴嵐荘区の住民
 参加者数 39人

深谷さん(宿)：日曜日もデイサービスを受け

これは、両親や学校の若い世代に対する教育を、もう少ししっかり行えば良いと思うのですが。

教育長：村では、のびのびと正しく瞳かがやく青少年を育てるまちを宣言し、学校・家庭・地域が一体となり青少年育成東海村民会議を中心に青少年の健全育成に取り組んでいます。その中心を担うのが青少年センターです。青少年センターを基点として行っているパトロール活動は、補導活動ではなく、子どもたちに声を掛けることを中心に行うことにより、人間関係を築きながら、他人に迷惑を掛けないことを教えています。また、授業を理解できないことが原因で授業妨害、校内暴力等に発展しないように、スタディ・サポーターを配して丁寧に指導しています。落ちこぼれといわれる子どもをつくらないことも大切だと思います。

られないでしょうか。

福祉部長：土・日曜日のデイサービスにつきましては、福祉課から要望をしています。J Aひたちなかは、土曜日については、来年度から実施する方向で前向きに検討するとお返事をいただいています。日曜日については費用の問題で難しいのが現状です。今後、充実した施設サービスを提供するために、新しい施設が開設する際は、二十四時間体制や土・日曜日に営業などを開設条件にしたいと思っています。

田所さん(宿)：最終処分場の管理はどういう状況になっているのですか。

経済環境部長：清掃センターで管理を行い、毎年、浸出水をサンプリング調査して分析を行っています。これまで、健康項目で問題になる数値は出ていません。

助役：廃棄物を捨てる場所の底にはゴムシート等が二重に敷いてあり、水が染み出ることはありません。そこから浸出水をパイプでくみ上げ、水処理施設で薬品処理をした後、配水管で新川交流点まで流していますので、絶対といえる位、環境に影響を与えるような水は出ないようになっています。

照沼さん(宿)：配布された資料の、高度科学研究文化都市への個所に、伐採面積を少しでも小さくすることができないか、日本原子力研究所と高エネルギー加速器研究機構に対して、強く申し入れをしているところですかとありますが、いところまでに回答を得られるのか、また、八間道路から右の林を切るときは地域の人を招待す

るとか、私たちに見学する権利をいただけるなどを、役場の権限で原研を指導するようにしていただきたいと思っています。

村長：要望書の内容は、一、砂防林の伐採は自然生態系の保全に配慮し、必要最小限にとどめること。二、やむを得ず伐採するに当たっては詳細な伐採計画書を示して、村当局や村議会、村環境審議会、また地元愛林組合や、組員に対し説明会を開催すること。また、必要があれば現地における事前説明会を開き、理解を得るよう努めることとしています。この伐採計画書ですが、「海岸の松の伐採を必要とする全体計画の概要、伐採箇所、面積、伐採工程施工者、伐採後処理計画(たとえば再利用計画)、移植計画、本数などを示してもらい、時に応じて現地説明会を開いてもらうことを原子力研究所、高エネルギー加速器研究機構が了解したということを進めていきたいと思っています。その他、三から七まで要望があります。例えば八間道路については、東海十二景の一つに選定し村民の心の原風景となつていこと、極力原形復元に努めること」としています。原形とは今の八間道路ではなく昔の八間道路：古い等高線などを持ってきて、砂を敷いていくことを要求しています。

照沼さん(宿)：健康体操についてです。月ごとに事業計画表をいただければと思います。また、事業が同じ日に行われたことがあり、もう少し工夫をしていただけたらと思います。

福祉部長：健康づくり事業が重なってしまつたことは、本当に申し訳ありませんでした。「同

じ日に事業が重ならないように各係で調整することと指示してありますので、絶対とは言いませんが、今後はないと思います。また、月に事業計画表が欲しいという件につきましても、現在、広報とかいや防災行政無線でお知らせしていますが、事業が定着したら、一年間の計画を作るように福祉課と保健年金課に指示していきます。

中丸小学校区



期 日 8月19日(月)
 時 間 午後7時～9時
 場 所 中丸コミュニティセンター
 参加対象 緑ヶ丘区、南台区、須和間区、押延区、舟石川中丸区、長堀1・2区の住民
 参加者数 43人

土橋さん(押延)：住民基本台帳ネットワークの現状と将来像についての村の対応を、村長の把握している範囲で説明してください。

村長：八月から実施されている住民基本台帳ネットワークシステムは、氏名・住所・生年月日・性別の四情報と住民表コードおよびこれらの変更情報をネットワーク化したものです。来年八月に発行されるカードには相当な情報を入れることができるということです。村もネット

ワークにつなぎましたが、今後も個人情報保護について万全の努力をしていきます。

押延区長：押延から宿の方に下りる村道がありますが、現在はごみの山で通れません。このように谷津田が多い押延区は目に余るところが数多くあります。そういった場所をまちづくり委員会をよく見ていただき、ごみを捨てないような看板を設置してもらえたらと思います。福祉センター周辺の谷津田も掃除していただき、公園や遊歩道の計画をしていただければ、押延区としても協力したいと思います。

村長：役場で実際に担当するセクションには職員が一人か二人しかいませんから、そこで住民参加ということになります。谷津田をどうするかということと役場とともに考えていくのはこの地域にとっては重要なことです。福祉センター周辺の谷津田を公園や遊歩道にするという提案など、いろいろな提案をいただき、皆さんとともに考えていきたいと思えます。

田中さん(中丸)：自転車によるまちづくりについてですが、もう少し駅に近いうちに駐輪場を設置していただければ、自転車で駅を利用する方が助かるのではないかと思います。

経済環境部長：駅西側の駐輪場は比較的駅に近いのですが、駅東側には、駐輪場としての土地をまだ確保していません。現在の駐輪場は、区画整理事業の中で活用していない土地を借用しています。用地確保が難しいのが現状です。

村長：駅の目の前には村の土地がありません。本来、駐輪場は駅前を設置するものです

が、公園用地でまだ利用していない土地を駐輪場にしてるので、今後公園が整備されれば、別な個所に考えなければなりません。いずれにしても土地が無いというのが一番の問題です。

村松小学校区



期 日 8月20日(火)
 時 間 午後7時～9時
 場 所 真崎コミュニティセンター
 参加対象 真崎区、舟石川3区、原電滝坂区、原研荒谷谷区の住民
 参加者数 42人

関村さん(真崎)：ふるさと登録制度ということで新しいものを発掘しようとしているようですが、古墳公園など、地域の老人が孫を連れて散歩をしながら、思い出話ができるような憩いの場を造ってほしいと思います。

村長：登録制度は今あるものを保存するということです。また、自然公園については、役場が地権者や地主に話しをしてモデルを作って整備をしては、今までと同じですから、地域の人たちが主体的になり、私たちが能力奉仕をしながら管理するという公園にしていきたいです。文化財保護では、たとえば真崎の塙さん宅にあるカヤの木などは村の宝ということで指定して

石神小学校区



期日 8月21日(水)
 時間 午後7時~9時
 場所 石神コミュニティセンター
 参加対象 外宿1区、外宿2区、内宿1区、内宿2区、竹瓦区の住民
 参加者数 80人

境さん(外宿)：石神小学校わきの神社側の花

いき、斜面緑地の保存も考えています。

杉山さん(真崎)：造成中の福祉センターに建設される屋外運動設備を教えてください。

福祉部長：外溝工事としては、ふれあい公園や親水公園、自然の遊び場やアスレチック等を計画しています。高齢者の施設としてはクロックコートや四角計画していますが、皆さんの意見も聞いた上で、変更等もあると思います。

木村さん(真崎)：ケナフという草は大変生育が早く、製紙に適するそうです。村もケナフを成育し、紙を作ってみればと思っております。

福祉部長：ケナフアオイ科ハイビスカス属の一年草)は地球温暖化や森林伐採を防ぐのに一役担うといわれており、現在村では、ケナフを栽培している団体があります。このケナフを使用し、紙作り事業ができるか検討しています。

壇に、春はスミレ、夏はサルビアというように季節ごとに楽しめるきれいな草花を植えたいと思っておりますので、今あるサツキの木などを撤去していただけないでしょうか。

建設部長：すぐにも木を撤去するか、または他の所に移植したいと思えます。

高橋さん(内宿)：久慈川の治水対策については。過去に那珂川のはんらんがあり、今後は久慈川もないとは言え切れません。久慈川沿いの家は久慈川の水位よりも低い土地に建っているため、大丈夫なのかと疑問に思えます。村ではどのように考えているのですか。

助役：村では水防訓練を十月中旬に行う予定です。

高橋さん(内宿)：はんらんしないようにするにはどのような手を打っているのですか。

村長：国が十分な対策を取っています。村側は危険水位からさらに二メートルほど高く土手を固めていますので、今の水位から八、九メートルぐらい増えても問題がないようになっていきます。那珂川のはんらんの時、久慈川は危険水位から一メートルほど高かったのですが、問題はありませんでした。百年に一度の水害に対しては心配ありません。

内田さん(内宿)：今年の原子力防災訓練の概要についてお聞きしたいと思います。

経済環境部長：村では平成十二・十三年と原子力防災訓練や県と総合防災訓練を行ってきました。しかし今年、県は大洗地区を対象に九月三十日に総合防災訓練を実施します。村では、

平成十一年九月三十日の臨界事故を忘れないように九月二十四日から三十日を原子力防災週間と決めました。昨年度までは防災訓練を実施しましたが、今年度は九月二十八・二十九日に「原子力防災フォーラム」を行います。JCO事故から三年たった今、住民の皆さんはどのように考えているのか、大いに討論していただきたいと思えます。

村長：今年、村では九月三十日に県で実施する大洗地区の総合防災訓練の一環として、災害対策本部を設置し、事故の発生時刻・場所などを区長・民生委員に連絡するまでの訓練を行うとともに、私や担当職員がオフサイトセンターに勉強に行きます。現在、防災情報システムの構築を進めています。これは電算機システムによって、災害時の通信連絡網や普段の行政情報の提供を行うものです。原子力防災週間、学校や原子力事業所・家庭に広くお知らせをして、防災に対する意識を高めていただこうと考えています。

大平さん(内宿)：村報についてですが、私のところには村報が届いていないのですが、

自治推進課長補佐：「広報とつかい」は一万五千部発行しています。そのうち、一万三千九百部を新聞折り込みにして配布しています。新聞を取っていない方には、広報係へ連絡していただければ、郵送するサービスを行っています。また、各コミュニティセンターなど村内の公共施設にも置いてありますので、ご自由にご覧ください。

住居表示事業の実施に伴う 「字の区域および名称の変更」の公示について

村では、現在の複雑化した土地の地番による住所の表示の混乱を解消し、住所の表示をだれにも分かりやすく、探しやすいものにするため、住居表示事業を進めています。

また、街区道路などがほぼ形成され、換地処分が間近で、かつこの事業の起点となる東海駅に隣接している「駅西地区(ただし、今回実施できる区域は、駅西土地区画整理事業区域です)を最初に実施することが決定しています。

そこで、この地区に新たな町名を付けるため、新町名を公募し、その結果を踏まえ住居表示審議会でも十分審議された結果、新町名の答申を頂きました。

このことにより、村では下記のとおり12月

の村議会に議案として提出する上で、この案を法に基づき30日間公示します。

つきましては、この事業を円滑に実施していくために、駅西地区の住民の皆さんのご理解とご協力をいただき、すっきりと分かりやすく住みよいまちづくりを目指したいと思っています。

なお、この案に異議があるときは、公示期間内に変更請求をすることができます。

字の区域および名称の変更(案)

駅西地区(下図のとおり)

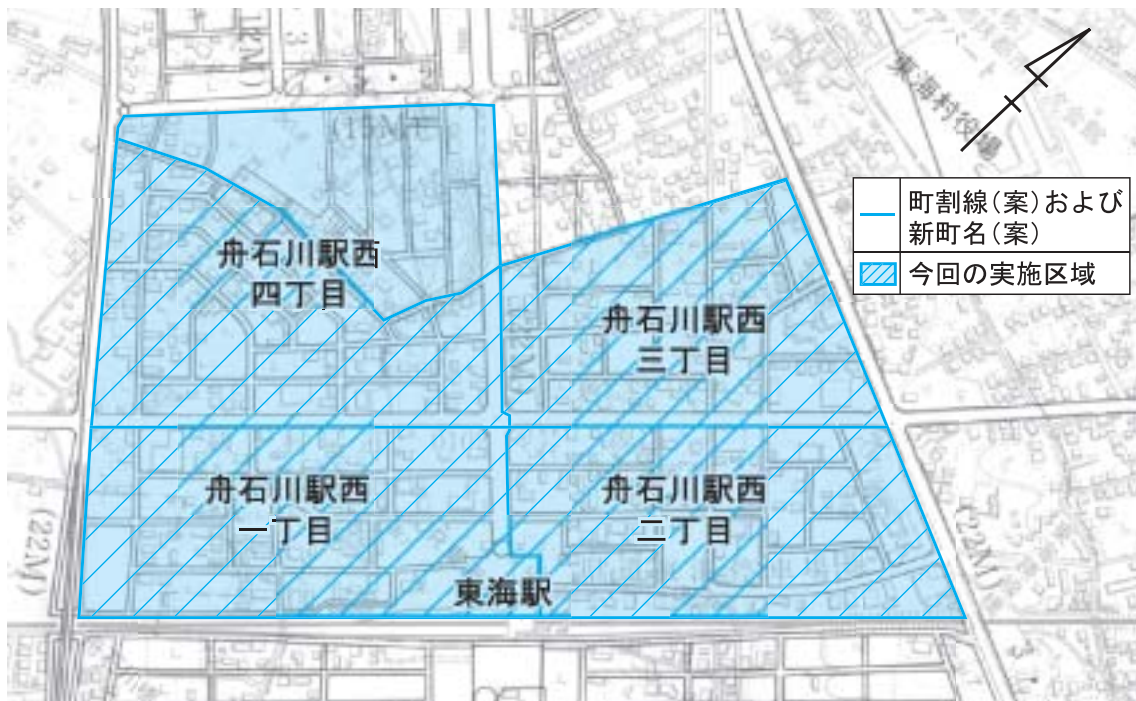
公示期間

10月11日(金)~11月9日(土)

公示場所

役場庁舎掲示板

駅西地区



問合せ 福祉部住民課住民係 ☎282-1711 内線1125)

11月1日から7日は 文化財保護強調週間

- 文化財に対して愛する気持ちを -

文化財保護強調週間は、昭和29年法隆寺金堂の修理事業の完成を機に竣工式が行われた11月3日を中心に11月1日から7日と定められ、以後毎年実施され、今年で49回目を迎えます。

文化財は、長い歴史の中で生まれ、はぐくまれ、今日まで守り伝えられてきた貴重な財産であり、村の歴史、伝統、文化などの理解のために欠くことのできないものであると同時に、将来の文化の向上発展の基礎をなすものです。

文化財の保護のためには、住民の皆さんも文化財の意義を理解し、文化財を愛する気持ちを持つことが何より大切です。

村の指定文化財に新たに2件を追加!



出釜
土遺跡

釜付遺跡は、昭和60年に発掘調査され、小さな盛土を中心に大量の祭祀遺物が発見されました。現在遺跡は旧状のまま保存され、指定された出土品は中央公民館に展示されています。



水戸
八景の
碑村

水戸藩第9代藩主徳川斉昭が1833(天保4)年、水戸八景の一つとして選定。天保5年から8年の間に建立されたとされています。石の表が常に濡れていたため「濡れ石」ともいわれています。

問合せ 教育委員会社会教育課文化振興係
(☎282-1711 内線1423)

農業振興整備計画の 見直しについて

一般管理による農用地利用計画変更(農用地の除外申請)受付期間

平成15年度は、計画変更(農用地の除外申請)が凍結となりますので、平成14年10月末日までに下記要件を満たしている方は、申請してください。

計画変更要件

平成14年度および15年度に具体的な事業着工計画であること。

農用地区域以外に代替すべき土地がないこと。

変更後、農用地区域の利用上の支障のないこと。

変更後、農用地区域の集団性が保たれること。

変更後、土地利用の混在が生じないこと。
補助による土地改良事業などにより、農

地整備などの事業が完了した年度の翌年度から起算して8年を経過している土地であること。ただし、8年以上経過していてもに該当していない場合は、除外の対象とはならない。

土地改良(国営・県営)事業受益地(田・畑・山林)は原則として除外の対象としない。

以上の該当6要件および農地法・都市計画法などの要件を満たしている方は、下記までご相談ください。

なお、農業振興区域内の農地を農業以外の目的に使用する場合は、農用地の除外申請をしないと、農地転用ができません。

問合せ 経済環境部経済課農政係(☎282-1711 内線1433)



村上村長と須藤社会福祉協議会会長が佐藤ちよきさんを訪問



長寿の喜びをかみしめた敬老の日

9月8日、長寿のお祝いとして平成14年度敬老会が村内在住の75歳以上の2,131人の方々を対象に東海文化センターで開催されました。村上村長は「後進に戦中・戦後を生き抜いた知恵と経験をご教授してほしい」とあいさつ。また、東海村老人クラブ連合会会長の武田省太郎さんが代表者謝辞の中で「小さな親切・感謝運動の展開を行い、今後も地域に貢献していきます」と話してくれました。なお、式典終了後には村上村長と須藤社会福祉協議会会長が、村内最高齢者の佐藤ちよきさん(石神内宿在住、104歳)を訪問し激励しました。



思春期の子どもたちが本音で意見を交わす

ひたちなか保健所と村の共催による「思春期講座」が、9月11日と13日に中央公民館で開催されました。ピア・カウンセリング(仲間同士が対等な立場で話を聞き合うこと)を取り入れたこの講座は、思春期の子どもたちに生や性について認識させ、自己決定していく力を育てるとともに、学校と地域が連帯し地域での思春期・エイズ教育の基盤づくりの契機とするため実施されたもの。11日に参加した県立東海高等学校の生徒35人は、和田由香さん(医師)の指導の下、性に関するの悩みなどについて、本音で意見を交わしていました。

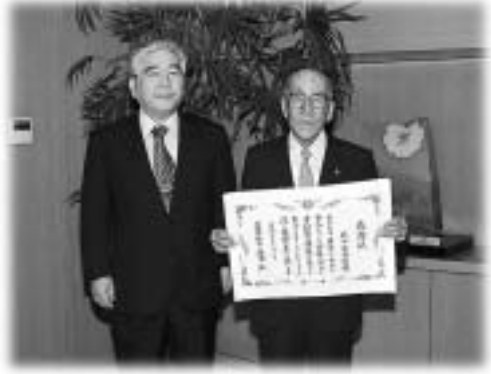
住民の皆さんのご意見をプランに反映させるために

「都市計画マスタープラン」の策定に伴う中丸地区の第1回「土地利用懇談会」が9月5日、中丸コミュニティセンターで開催されました。この懇談会は、都市計画法に基づき「とうかい21世紀プラン」などの計画に則して、村の将来あるべき都市像や、まちづくりの基本的な方向性を都市計画の観点から策定する「都市計画マスタープラン」に、多くの住民の皆さんのご意見を反映させる目的で開催されたもの。参加者からは多くの意見が出され、環境を考慮した「中央地区内の緑地の確保をお願いしたい」などの要望も寄せられていました。



武田省太郎さんへ県知事から感謝状

武田省太郎さん(川根在住、80歳)が、9月6日に県民文化センターで開催された「第41回茨城県老人クラブ大会」において、橋本県知事から感謝状を授与されました。これは、武田さんが川根瑞穂クラブ会長として15年以上にわたり地域老人クラブ活動に寄与し、さらに東海村老人クラブ連合会会長となってから、全村的に「高齢者と子どものふれあい事業」を推進するとともに、スポーツを通して地域との交流を図ってきたことが認められたもの。9月9日、村上村長を訪問した武田さんは、今回の喜びを笑顔で報告していました。



手作りいかだで川遊び

教育委員会主催による「わくわく宿泊体験学習」が8月20日から24日まで、舟石川コミュニティセンターで行われました。村内の小学5・6年生30人が参加して行われたこの体験学習は、親元を離れ共同生活をするにより、自立の心と協力する心を育成するとともに、物作りを体験することにより創造性を養うことを目的に実施されたもの。22日には、ペットボトルを使ったいかだの作製と、久慈川での進水式が行われ、子どもたちはグループごとに作り上げたいかだを浮かべながら、思う存分川遊びを楽しんでいました。

お月見集会で子どもたちが団子作り

9月15日、中丸コミュニティセンター(井上義明センター長)で「お月見集会」が開催されました。この催しは、中丸コミュニティセンターの自主事業である「高齢者と子どもの集い」の一環として行われたもの。参加した20人の小学生たちは慣れない手付きで粉をこねたりしていましたが、敬老会の方々による手取り足取りの丁寧な指導のおかげで、作業は次第に慣れていった様子。出来上がった団子を口いっぱいにはお張りながら見せる子どもたちの満面の笑みが随所で見られると同時に、「おいしい」の声が連呼されていました。



みんなで力を合わせて競い合う

秋の風物詩の一つである「秋季大運動会」が9月16日、石神・村松小学校を除く村内の各小学校で行われ、ここ白方小学校(成田昭夫校長 児童数623人)でも、地域のお年寄りや来年度入学予定の子どもたちを招待して開催されました。かわいらしいダンスや学年別の障害物競争・綱引きなど力いっぱい競技を楽しんだ子どもたち。そんな子どもたちの一生懸命な姿を応援するために会場を埋め尽くした保護者たちからは、盛んな声援や拍手がわき起りました。なお、午後に行う予定の5種目は雨の影響で翌々日に行われました。

文芸とうかい

【俳句】

盆花を抱き妻似の娘の帰郷 村松 川崎 常義
 空蝉に見る一夏の命とよ 舟石川 舛井 愛子
 遠花火ただ音だけの村祭 内宿 渡辺 あさ
 天然の水を求めて里の山 緑ヶ丘 齋藤 達雄
 立秋にほつと一息髪洗う 舟石川 宮本 直
 秋風や偲ぶ裏山なつかしく 南台 助川 千代
 夕映えの水面に浮かぶ赤トンボ 豊岡 中島エミ子
 中年の桃をすすりて土手暑し 村松 松本 正勝
 赤とんぼ止まる気配のなき高さ 白方 柴田 一声
 野分後に一輪の花たくましく 白方 根本 武
 雨上り石南花そつと露落とし 白方 根本 怜子
 溪川の瀬面に揺れる葛の花 南台 藤田己之次
 けもの道ぬければこも柿の村 南台 渋谷めぐみ

【短歌】
 この夏はあまりに暑し藤棚の陰にし居れば涼し
 からんか 村松 高橋 道子
 吹く風のようにやく涼しき夕ぐれに見る柿の実の
 日毎に育つ 船場 舛井庫之助
 花芙蓉ひと日その花保ちつつ暑きさなかを我が
 目たのしむ 内宿 飛田 静峰

指導者からのメッセージ

青少年育成 青体験記

PART. 31



PTA活動にかかわって

東海村小中学校PTA連絡協議会会長

白方 酒井 光恵

東海村小中学校PTA連絡協議会の会長として数か月が過ぎました。その間、多くの方々と出会い、いろいろな経験をさせていただきました。言うまでもないことですが、子どもたちが伸び伸びと健やかに育ってくれることを願うのがPTA活動なのですが、やはり、東海村小中学校PTA連絡協議会会長としてより、東海中学校PTA会長としての方が、子どもたちに接する機会が多いですね。

その中で、東海中の子どもたちの頑張りにエールを送りたい場面がたくさんあります。部活動での大活躍、生徒会活動でのダイソー前花壇の整備、ボランティア活動な

どなど。個人でもそれぞれ得意分野で活躍している子が数多くいます。

先日卓立祭(体育祭)では、「英姿颯爽」のテーマの下、上級生が中心になって縦割り対抗種目の競技で盛り上がりました。応援合戦は圧巻でした。みんなそれぞれ自分の役割を果たした精いっぱい動きに好感が持てました。保護者や地域の方々の応援も多く、それも子どもたちの頑張りの一因になったのでは...と思います。この頑張りのある素直な子どもらしい東海中生に心温まる思いがしています。

学校に行く機会が多いのですが、その際子どもたちの明るい笑顔、元気でさわやかなあいさつ、こういう場面に数多く出会ったたび、「今の、これからの子どもたちも捨てたもんじゃないぞ」と頼もしく思えるこのころです。

しかし、実際問題として、青少年をめぐる問題は悪化しているようです。その中でも、心身共にたくましい健全な子どもに育ってほしいと願いながらも、なかなか思うようにいかないのが現状でしょうか。

親として、その人間性を高めたり、ゆとりを持って生活ができれば、心豊かな家庭づくり、健全な子育てができるのではないのでしょうか。

“親が変われば子どもも変わる”ですよ。

絞りなど朝顔の花並びおりおはようさんと水か
 けてやる 外宿 小林美代子
 古りしわが友から声の便りあり昔を語り心なご
 めり 村松 花井 柳子
 猛暑の日々多くの人に励まされ夫元気に孫らと
 おりぬ 白方 上野 光子
 快音を残して空飛ぶ白球に高校球児の燃えたぎ
 る夏 外宿 高槌 すみ
 朝まだき夏鶯の声冴えて露敷く草に足を濡らし
 つ 照沼 藤井 幸雄
 灼熱にこえひたすらに鳴く蝉のはかない命道に
 転がる 南台 根本内俊男
 さと山の道標なる水車小屋草に埋もれ吹く風涼
 し 内宿 村上 文江
 中庭で鳴く不如帰気にしつつ我はいまだに見る
 ことのなし 外宿 照沼とみ江
 ゆく春の那須の茶臼の頂に夕日にあかき雲が流
 る 村松 高橋 正弘
 君と我とそれぞれの道あゆみ来て十五の春に戻
 るすべなし 南台 榎田 浩平
 波に触れスイカ割りからパーベキュー人・人・
 人の浜も赤とんぼ 舟石川 工藤和一郎
 各地より頂点目指し来村す真夏の祭典インター
 ハイ 照沼 佐藤 昇
 三階の工事進めば南中の校舎の見えず我は寂し
 き 船場 中井川しげ
 【川柳】
 またも中古で車のクセをすぐ覚え
 南台 谷 ひろし

エッセー頑張る

今どきの
青少年
VOL. 41



右が今月のエッセイスト

ほつとではあとな体験キャンプに参加して

水戸蔭陵高等学校二年

ボランティアサークルWING副会長

村松 廣木 菜冴

私は今年の夏に四日間、「ほつとではあとな体験キャンプ二〇〇二」という東海村・那珂町・瓜連町社会福祉協議会主催のボランティアキャンプに実行委員として参加しました。

実行委員としての主な仕事は、自分のグループをまとめることです。最初はグループのメンバーとコミュニケーションが取れず、話も進まずどうしていいかわからなくてすごく困りました。早くメンバーと仲良くなりたいと思うと焦ってしまい、余計うまくいかなかったのに、お弁当を食べながら学校の話やこれからのキャンプの予定を

話し始めたなら、すぐに打ち解けて仲良くなることができました。そのとき私は、四日間も普段の生活では体験できないことをたくさんやれるので、キャンプ終了までに目標を決めて、それに向かって頑張ってみようと思いました。その目標は、「キャンプを通して感じたことをすべてまとめて今後の抱負にすること」に決めました。

それからのキャンプは充実していました。車イス、アイマスク、インスタントシニア体験をしながら、自分たちの住んでいるまちを歩いてみたり、障害を持つている方々の視線からまち中を見たり、公共の物を利用して普段では分からない細かいことに気がきました。特に目に付いたのが歩道です。とても小さな段差でも車いすだと大きく感じ、アイマスクだとつまずいてしまいました。今はまだ道に不便な段差があるけれども、たくさんの人々がバリアフリーに心掛ければ、すぐに良い道ができると思います。

私はキャンプの最後の日に、いろいろと考え直してみました。そして思ったことは、人と接するときには「コミュニケーションを取りながらお互いを助け合い、失敗しながら成長する」ということです。私はこれから、この気持ちを常に持ちながら生きていきたいと心から思いました。



毎月高齢者の皆さん
に対するさまざまな福
祉サービスを紹介して
いるこのコーナー。今
回は、高齢者を在宅で
介護している介護者の身体的・精神的・経済的
な負担の軽減を図るとともに、寝たきり高齢者
がより良い環境で在宅生活を続けることができ
るよう、介護用品等の購入費用の一部を助成す
る「家族介護用品購入費助成事業」について紹介
します。

家族介護用品購入費助成事業

対象となるのは、日常生活の大半を、ほかの
方の介護によらなければならない状態にある①
おおむね六十五歳以上の寝たきりおよび痴ほう
性高齢者②重度身体障害者③重度知的障害者
(児) を、在宅で介護している村内在住の介護
者です。希望される方には、千円券が六枚つづ
りになっている「東海村家族介護用品購入費助成
券」を、一か月単位で上半期・下半期ごとにお渡
しします。この助成券は、村が指定した販売店
で使用することができます。なお、購入できる
介護用品は、①紙おむつ②尿とりパット③使い
捨て手袋④清拭剤⑤ドライシャンプー とな
ります。

申し込み・問合せ

印鑑をご持参になり、所定の申請書に必要事
項を記入の上、福祉部福祉課高齢福祉室高齢福
祉係(☎282局1711 内線1163)へ申し込み
ください。

STATION GALLERY

開館時間 午前10時～午後7時
各展示の最終日は、午後3時までとなり
ます。
場 所 JR東海駅(駅舎2階)
問 合 せ 東海ステーションギャラ
リ-(☎287-3680)

10月20日(日)～10月26日(土)

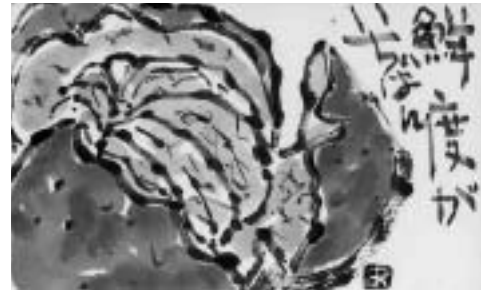
「そして今」をテーマにしたように、現代の
俳句や詩を題材にして、刻字にまで広く作
品制作を試みました。書の学習の基本であ
る古典の臨書作も発表します。制作は常に
思うようにいかないことも多いのですが、
作家の「今」の姿をご覧ください。



**そして今
明道清玉書展**

11月10日(日)～11月16日(土) 11月3日(日)～11月9日(土)

このたび、東海絵てがみクラブは第6回
目の展示会を「こぶしの会」と合同で開催す
ることになりました。それぞれが心の中で育
ててきたものを絵手紙に表し、この展示会
で新しい出会いや楽しさを感じてもらえ
たらうれしく思います。ぜひご覧ください。



第六回東海絵てがみ展

少数精鋭を自負している会員たちで、各
自それぞれテーマを持ち、表現・感性をさ
まざまにして、中央展で発表した作品を中
心に展示します。また、今回は第5回展を
記念して、茨城県教育委員会の後援等も
いただいで開催します。ぜひご来場ください。



創造茨城支部展

図書館トピックス

心に残った一冊の本

『彼らの流儀』

著者/沢木耕太郎 出版社/新潮社

人はどんななさいな出来事にでも、常に感受性豊かに、鋭敏に心のアンテナを利かせておけば、日常のさまざまな場面で人間ドラマを垣間見ることが可能である。そして、人の数だけ、十人十色の生かされ方があるものだ。それにしても人の人生とは、誠に不思議なものだ。この著書を読んで思わされた。学生、特に進路に迷っている高校生などにはぜひ読んでほしいと切に思う本である。(書評/小野瀬靖さん)

寄贈本受け付けています!

ご自宅に、読まなくなつたけれどだれかに勧めたい本はありませんか。随時これらの本の寄贈を受け付けていますので、お気軽に図書館までお持ちください。

~自分が変わる、世界が変わる、本との出会い~
10月27日から11月9日は読書週間です

本を・楽しみ・会

日時 10月12日(土) 午前10時~11時30分
場所 視聴覚室(2階)
内容 秋に関する本の紹介
工 作 木の実や落ち葉で作ってみよう(内容が変わることがあります)

今年もやります! 古本市

読書週間内に一週間、「古本市」を行います。図書館で除籍した本や雑誌、皆さんからの寄贈本など多数ありますので、ぜひご来場ください。一人十冊まで無料でお分けします。

一日目

日時 十月二十七日(日) 午前十時~午後四時

場所 図書館前・クスノキ周辺(当日が雨天の場合は図書館内多目的ルームで行います) 車で来館の方は、図書館南側スイングプラザ駐車場をご利用ください。

二日目から

日時 十月二十九日(火)~十一月二日(土) 開館時間内(休館日を除く)

場所 図書館多目的ルーム

古本市ボランティア募集

古本市の準備や、当日ボランティアをしてくれる方を募集します。詳しくは、電話またはカウンターへ直接お問い合わせください。

たんぽぽの会による読み聞かせ

毎週土曜日(第5土曜日を除く)の午後2時から、おはなしコーナーで実施しています。

休館日

10月14日(月)・15日(火)
21日(月)・28日(月)
31日(木)
11月3日(日)・4日(月)
11日(月)

国民年金 だより 国民年金の独自給付について

寡婦年金

第一号被保険者期間のみで、保険料を納めた期間と免除期間を合わせて三百月以上ある婚姻期間が十年以上が亡くなったとき、夫に生計を維持されている妻が六十歳から六十五歳になるまでの間、夫が受けることができたはずの老齢基礎年金の四分の三が受けられます。

ただし、死亡した夫が老齢基礎年金や障害基礎年金を受けていた場合は、寡婦年金は支給されません。

死亡一時金

三十六月以上、国民年金保険料を納めている人が年金を受けないで亡くなったとき、その遺族が受けられる一時金です。ただし、妻である配偶者や子どもが遺族年金を受けることができるときは、支給されません。また、寡婦年金と死亡一時金は、いずれかを選ぶことができます。

死亡日の属する月の前月まで第一号被保険者として保険料を納付した月数と半額免除を受けた月数の二つの一に相当する月数を合算した月数に応じて下表の額になります。

保険料を納めた期間	金額
3年以上15年未満	120,000円
15年以上20年未満	145,000円
20年以上25年未満	170,000円
25年以上30年未満	220,000円
30年以上35年未満	270,000円
35年以上	320,000円

問合せ

福祉部保健年金課年金係 ☎282局17711
線1137)

人口と世帯数

平成14年9月1日現在			
		前月比	
世帯数	12,458世帯		+ 10
総人口	34,856人		+ 39
男	17,546人		+ 16
女	17,310人		+ 23



住民検診を実施します

村では、10月から11月にかけて、住民検診(結核・肺がん検診、成人病検診 血圧・血液・尿・心電図・眼底検査) 前立腺検診、ウイルス肝炎検査、大腸がん検診)を行ないます。

日程等

期日	場所	期日	場所
10月23日(水)	保健センター 保健センター	10月29日(火)	舟石川コミュニティセンター 舟石川コミュニティセンター
10月24日(木)	真崎コミュニティセンター 豊岡集落センター	10月30日(水)	石神コミュニティセンター 外宿2区集会所
10月25日(金)	白方コミュニティセンター 龜下集会所	10月31日(木)	村松コミュニティセンター 南台集会所
10月28日(月)	中丸コミュニティセンター 船場集会所	11月1日(金)	保健センター 保健センター

受付時間 午前9時30分～11時 午後1時20分～2時40分

費用 無料

その他 今年実施した総合検診を受診された方は、今回受診する必要はありません。

申し込み・問合せ 今年1月の健康診査家族調査票で申し込みをしていない方や、最近転入した方のうち希望される方は、10月25日(金)までに、福祉部保健年金課保健予防係(内線1135)へ電話で申し込みください。

インフルエンザ予防接種助成事業希望者募集

対象 3歳(平成14年10月1日現在)以上15歳(中学3年生)以下の方

接種期間 10月15日(火)～平成15年1月17日(金)

接種回数 2回(1～4週間隔)

費用 本人負担額1,000円/回

指定医療機関 尾形医院、長澤医院、清野医院、武藤小児クリニック、東原クリニック、東海病院

申し込み・問合せ 11月15日(金)までに、福祉部保健年金課保健予防係(内線1134)へ電話で申し込みください。なお、65歳以上の方(平成14年10月1日現在)のインフルエンザ予防接種に関しては、対象者に受診券をお送りしますので、申し込みの必要はありません。

募集

平成15年度幼稚園入園児募集

対象 ①5歳児...平成9年4月2日から平成10年4月1日までに生まれた幼児 ②4歳児...平成10年4月2日から平成11年4月1日までに生まれた幼児 ③3歳児...平成11年4月2日から平成12年4月1日までに生まれた幼児
募集人員 ①4・5歳児...希望者全員 ②3歳児...村松幼稚園(32人) 石神・舟石川・宿・須和間幼稚園(各16人)

申し込み 各幼稚園に備え付けの入園願いに必要事項を記入の上、10月21日(月)の午後1時30分から3時までに、幼児の住民票(抄本)を添えて、希望する幼稚園へ申し込みください。
問合せ 各幼稚園または教育委員会学校教育課学校教育係(内線1413)

希望者
募集

松の木を無償でお譲りします

大強度陽子加速器施設建設予定地内の松を村内在住の方を対象に無償でお譲りします。

事前調査

ご希望の松を選定してもらいます。

日時 10月19日(土) 午前10時～正午

集合場所 日本原子力研究所東海研究所南門

引き取り

日時 10月26日(土) 午前10時～正午

集合場所 日本原子力研究所東海研究所南門

その他

対象となる松は、樹齢4・5年(高さ150センチメートル程度)のものが中心となり、1世帯5本までとなります。移植・運搬作業の実施および用具等の準備は、本人の負担となります。

申し込み・問合せ

10月16日(水)までに、日本原子力研究所東海研究所管理部管財課(☎282-5075)へ電話で申し込みください。

東海村役場	282-1711	東海村姉妹都市交流会館	282-0535
防災行政無線放送テレホンサービス	0120-42-4848	東海村心身障害者福祉センター「はまざく」	282-4599
東海村合同庁舎(会議室の予約等)	283-3344	東海村(基幹型)在宅介護支援センター	287-2516
東海村中央公民館	282-3329	東海村在宅福祉サービスセンター	283-4344
東海村立図書館	282-3435	東海村訪問看護ステーション	283-4836
東海村青少年センター	282-7049	(社)東海村シルバー人材センター	282-3446
東海村総合体育館	283-0673	(財)東海村開発公社	284-0335
東海スイミングプラザ	287-0807	ひたちなか西警察署東海地区交番	287-0110
東海村テニスコートクラブハウス	282-8571	東海郵便局	282-2001
東海文化センター	282-8511	J R東日本東海駅	282-2008
東海ステーションギャラリー	287-3680	常陸海浜広域斎場	265-7191
東海村立東海病院	282-2188	救急病院の案内 救急医療情報コントロールシステム	241-4199
東海村保健センター	282-2797	東海村消防本部・消防署	282-2038
東海村清掃センター	282-7289	東海村石神外宿浄水場	282-9200
東海村老人福祉センター「みどり荘」	282-4300	(土・日曜日・祝日の断水等の連絡)	
(社福)東海村社会福祉協議会	282-2804	小・中・高校生のための心の悩み電話相談室	282-7070
		(毎週金・土曜日 午後3時30分~7時)	

ふれあいハイキング参加者・ボランティア同時募集

手引きボランティアサークルでは、「ふれあいハイキング」へ参加する視覚障害者と、ハイキングをサポートするボランティアを同時募集します。

日 時 10月29日(火) 午前8時45分集合
午後4時解散

集合場所 ふれあいの森公園駐車場

目的地 常北町健康増進施設「ホロルの湯」
(東茨城郡常北町大字下古内1829-3)ほか

定 員 各5人

参加費 500円(昼食代)

申し込み・問合せ 10月18日(金)までに、社会福祉協議会ボランティアセンター(☎282-2804)へ申し込みください。

第20回朗読の集い参加者募集

朗読ボランティア「こだま」による「朗読の集い」を開催します。皆さんも、視覚障害者の方々と楽しいひとときを過ごしてみませんか。

日 時 11月6日(水) 午前10時~午後2時

場 所 中丸コミュニティセンター

定 員 先着20人(子ども連れの方は、ご遠慮ください)

参加費 500円/人(昼食代を含む)

申し込み・問合せ 10月25日(金)までに、社会福祉協議会へ申し込みください。



“脱・大人の企画”青少年による企画事業

青少年を対象とした事業を企画・実行できる、やる気のある方を募集します。この事業では、イベントプランニングなどについても学びます。

活動期間 11月から平成15年度まで

対 象 村内在住・在学の中学・高校生および青年(おおむね30歳までの方)

講 師 大学教授ほか

申し込み・問合せ 10月19日(土)までに、青少年育成東海村民会議事務局(青少年センター内)へ申し込みください。

旧村道1号線を歩こう! 参加者募集

中央公民館で作成した「東海村ウォークマップ・ぶらら東海さんぽみち」を片手に、石神社から照沼小学校までの約8キロメートルを一緒に歩いてみませんか。

日 時 11月10日(日) 午前9時~午後3時
雨天の場合は、11月17日(日)となります。

集合場所 中央公民館

定 員 50人

そ の 他 歩きやすい服装・靴でご参加ください。昼食・飲み物をご用意ください。

申し込み・問合せ 10月26日(土)までに、中央公民館へ申し込みください。

生きがい活動支援通所事業

一緒にお茶を飲んで仲間づくりをしましょう。

日 程 等

期日	場 所
10月18日(金)	真崎コミュニティセンター
10月22日(火)	石神コミュニティセンター
10月23日(水)	白方コミュニティセンター
10月24日(木)	村松コミュニティセンター
10月30日(水)	舟石川コミュニティセンター
10月31日(木)	中丸コミュニティセンター

時 間 午前10時~午後2時30分

対 象 60歳以上の一人暮らし 高齢者世帯 昼間独居 の方などのうち、介護保険の保険給付を受けていない方

内 容 健康相談、健康体操、趣味活動など

参加費 実費負担

申し込み・問合せ 福祉部福祉課高齢福祉室 高齢福祉係(内線1163)

パソコン指導ボランティア募集

中央公民館では、11月からの土曜日または日曜日を開放日(月2回程度)として、村民の皆さんを対象としたパソコン開放を予定しています。それに伴い、開放日にパソコン操作を指導するボランティアを募集します。

申し込み・問合せ 中央公民館

入場料
無

ご来場ください! 健康づくり講演会

日 時 11月1日(金) 午後2時開演
場 所 真崎コミュニティセンター
講 演 ①演題/「はつらつシルバーライフ
~心とからだの健康づくり~」 講師/尾形孝
さん(尾形医院院長) ②演題/「食べて目指そ
う健康長寿」 講師/小暮温子さん(栄養士)
対 象 村内在住の方(先着50人)
申し込み・問合せ 10月25日(金)までに、福
祉部保健年金課保健予防係(内線1135)へ申し込
みください。

10月の休日診療日程

診療時間	午前9時30分~正午、午後1時~2時	
問 合 せ	救急医療情報コントロールシステム(☎241-4199)	
期 日	病医院名	電話番号
13日(日)	長澤医院	282-2009
14日(月)	尾形医院	282-4781
20日(日)	東海病院	282-2188
27日(日)	武藤小児クリニック	282-7722

東海村水防訓練を実施します

村では、東海村地域防災計画(風水害対策編)に基づき、久慈川周辺の地域である 石神外宿の一部の地区 竹瓦地区(久慈川以南) 亀下地区 豊岡地区 において、地区住民の参加による、住民避難を含めた水防訓練を実施します。皆様のご協力をお願いします。

期 日 10月20日(日)
時 間 午前8時30分から
内 容 職員緊急招集訓練 災害対策
本部設置訓練 住民広報訓練 住民避難
訓練および避難所開設訓練 事後対応対策
訓練
問 合 せ 経済環境部原子力対策課防災係(内
線1518)

参加要
無

東海村文化祭2002「茶会」

東海村文化祭実行委員会では、下記の日程で茶会を催します。芸術に親しみながら、茶会で一服しませんか。茶券は一席300円です。

期 日 11月2日(土)...若葉会(表千家抹茶席)
11月3日(日)...松韻会(表千家抹茶席)
11月4日(月)...煎茶三彩流

申し込み・問合せ 10月17日(木)までに、奥野律子さん(東海村茶道連盟理事長 ☎282-2946)へ申し込みください。

要
無

東海村文化祭2002「短歌会」

東海村文化祭実行委員会では、11月2日(土)に開催する短歌会に出展する作品を募集します。

申し込み・問合せ 10月20日(日)までに、吉沼良子さん(☎319-1115 船場907 ☎283-1605)へ一首を添えて申し込みください。なお、当日参加することもできます。

八間道路が通行止めになります

日本原子力研究所と高エネルギー加速器研究機構が共同で進めている大強度陽子加速器施設の建設工事に伴い、村松大神宮裏から村松海岸に向かう八間道路が、10月1日から平成19年3月31日(土)まで通行止めになります。皆様のご理解とご協力をお願いします。

問 合 せ 日本原子力研究所東海研究所管理部大強度陽子加速器計画担当(☎284-3726)

エトセトラ

保健センターで生ポリオワクチンの投与

対 象 生後3か月から90か月までの乳幼児
日 程 等

日 時	場 所	対象区域
10月17日(木) 13:00~13:45	保 健 センター	内宿、外宿、県営石神A.P、白方、百塚、豊白、県営東海A.P、富士の腰住宅、竹瓦、亀下、豊岡、岡、荒谷台住宅、長堀住宅、滝坂社宅、須和間、緑ヶ丘、南台、照沼、サイクル機構太田、サイクル機構箕輪、サイクル機構百塚
10月18日(金) 13:00~13:45	保 健 センター	舟石川、舟石川中丸、船場、真崎、宿、川根、押延、晴嵐荘官舎

投与回数 全部で2回
そ の 他 当日は自宅で体温を測り、母子手帳を忘れずにお持ちください。

問 合 せ 福祉部保健年金課保健予防係(内線1135)

多生児育児支援事業

対 象 3歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある多生児を育児する保護者
育 児 時 間 平日の午前8時から午後7時までの間の必要な時間

支 援 時 間 1か月当たり、双子4時間 3つ子6時間 4つ子以上は2時間に多生児の数を乗じて得た時間 となります。

支 援 者 保育サポート「すくすく」の会員
問 合 せ 福祉部福祉課児童福祉係(内線1168)

用途地域における建ぺい率の都市計画の変更

今年7月に建築基準法等の一部が改正され、用途地域における建ぺい率の数値の選択肢の拡充が行われました。これに伴い、これまで建築基準法で一律に定められていた、住居・準住居地域・近隣商業地域・準工業地域・工業地域の建ぺい率の数値を都市計画法の規定により、都市計画に定めることが必要となりました。村では、現行の建ぺい率の数値をそのまま継続して適用することとし、今後その手続きを進めていきます。

問 合 せ 建設部都市計画課都市整備係(内線1232)・建築指導係(内線1233)

都市計画の変更および決定

水戸・勝田都市計画用途地域の変更(東海中央地区) 水戸・勝田都市計画地区計画の決定(東海中央地区) 水戸・勝田都市計画ごみ焼却場の変更 について8月20日より施行しました。これに伴い、東海中央土地区画整理事業区域内の用途地域は、第1種低層住居専用地域から、土地利用方針に沿った形に細分化されました。また、建築物を建築する際には、地区計画の届け出が必要となります。

問 合 せ 建設部都市計画課都市整備係(内線1232)・建築指導係(内線1233)

とりのまちから イベントガイド

北茨城市 雨情の里港まつり

日 時 11月3日(日) 午前9時~午後3時
場 所 北茨城市大津漁港
内 容 アンコウ鍋無料試食、サンマのつかみ取り、キャラクターショーほか
問 合 せ 北茨城市商工会(☎0293-42-2511)

水戸市 第6回水戸藩時代まつり

期 日 11月3日(日)
場 所・時間・内容 本町3丁目から本町1丁目間/午後1時~2時/水戸黄門行列、川越藩火銃鉄砲隊保存会ほか 三の丸小学校校庭/午後2時30分から/出陣式 中央郵便局から大工町交差点間/午後3時~5時/追鳥狩武者行軍、徳川慶喜公行列ほか
問 合 せ 水戸観光協会(☎224-0441)

内原町 第13回内原町ふれあいまつり

期 日 11月3日(日)
場 所 内原町ヘルスパーク(内原町大字内原1384-2)
内 容 郷土芸能発表、ミニS L、金魚すくい、輪投げ、力自慢・俵担ぎコーナーほか
問 合 せ 内原町ふれあいまつり運営委員会(☎259-4044)

大洗町 大洗あんこうまつり&MTBチャレンジ

日 時 11月24日(日) 午前9時から
場 所 大洗サンビーチ
内 容 アンコウ鍋や郷土芸能の紹介
MTB(マウンテンバイク)チャレンジ
問 合 せ 大洗町商工観光課(☎267-5111 内線331)

常陸太田市 第16回都々逸全国大会

自然を詠じ世相を巧みにとらえた日本民衆音楽として、広く愛好されている都々逸の保存と普及を図るため、全国大会を開催します。

日 時 11月23日(土) 午前9時開演
場 所 生涯学習センターふれあいホール(常陸太田市中城町3280)
入 場 料 無料
問 合 せ 都々逸全国大会事務局(常陸太田市商工観光課内 ☎0294-72-3111 内線217)

ひたちなか市 第51回勝田全国マラソン大会

期 日 平成15年2月11日(火)
コ ー ス 表町商店街石川運動ひろば入口(スタート)~昭和通り~国道245号線~東海村~石川運動ひろば(ゴール)
対 象 日本陸連登録者および一般アマチュア競技者で、高校生以上の方
参 加 費 一般(フルマラソン)...3,500円、一般(10キロメートル)...3,000円、高校生...2,500円
申し込み・問合せ 所定の申込書に必要事項を記入の上、11月30日(土)消印有効)までに参加費を添えて、勝田全国マラソン大会事務局(ひたちなか市松戸体育館内 〒312-0016 ひたちなか市松戸町2-6-1 ☎275-7752)へ申し込みください。

瓜連町 うりづらふれあいフェスティバル2002

前夜祭

期 日 11月3日(日)
場 所 総合センター「らぼーる」(那珂郡瓜連町古徳371)
内 容 ジャズライブ

ふれあいフェスティバル

期 日 11月4日(月)
場 所 中央商店街
内 容 ギネスに挑戦、子どもショーほか
問 合 せ 瓜連文化のまちづくり事業実行委員会事務局(☎296-0241)



ちびっこ美術館



石神 反橋拓巳くん
幼稚園

虫とり

幼稚園の散歩の途中、田んぼのあぜ道にトンボ、コオロギ、バッタなどがいたので、虫とりをした様子をかいてくれた拓巳くん(5歳)。虫をいっぱい捕まえました。かわいそうなので、全部放してあげたそうです。

ぼくの夢 Dream-19 わたしの夢



夢は...“イラストレーター”

白方小学校6年 川崎 詩歩

私の夢は、イラストレーターになることです。最初は漫画家になろうと思いましたが、漫画はストーリーも考えなくてはいけないのでやめました。なぜイラストレーターになりたいかという、私は、絵を描くのが好きで、それを生かした仕事がしてみたいからです。

もし、なれたとしたら、だれかが見て、「あ、これはあの人が描いたんだ」と、すぐに分かるようなオリジナルティのあるイラストを描きたいです。

私は、動物が好きなので、家で飼っている犬をモデルに絵を描いていますが、動物を題材にしたイラストをたくさん描きたいです。

そのイラストが自然保護などの活動に使ってもらえたらうれしいです。

今は、勉強をしっかりしたいと思っています。

わが家の 子育て奮戦記

表紙の「ひと」
平野純子



心臓に雑音が聞こえるといわれ、産まれてすぐに検査。三か月目で突発性発疹(ほうしん)。十か月目には、私と一緒にかけた水ぼうそうと、度重なるへんとう炎。小さいときから心配が付きものの長男・麗斗(二歳六か月)。今では、とてもやんちゃでいたずら好き、ちよびり甘えん坊な男の子です。次男・彪流(四か月)は、表情豊かで食欲旺盛。少々、頑固な所もありますが、全く手の掛からない元気な男の子。

そんな弟の誕生で、上の子の赤ちゃん返りが始まりました。かんだり、つねつたりといろいろ大変な時期がありました。一時的なもので、今では小さいながらもお兄ちゃんの自覚が出てきたのです。う。ホッペにチューやコレ、アンプ。ドゾと、やっと文章になつてきた言葉で、大好きなダンブカーのおもちゃを貸してあげたり、時には面倒をみてくれます。最近では、自立心が出てきたのか、何でも一人でやりたがりま

す。上手にできず、わきから何度、手を差し伸べようとしたことか。なかなかできなくても泣かずに、一生懸命に取り組む姿に、日々、成長していることを実感しました。今までできなかったことを、一つずつクリアすることで、あの子どもの喜びと自信に満ちあふれた顔は格別です。私は、ぎゅっと強く抱きしめて、何度も何度も褒めてあげるようにしています。その反面、いけない事はちゃんと説明して、いけないと言いつけや子育ての一番の理解者である夫。そして、子育てに進んで協力をくれる両家のおじいちゃん・おばあちゃん、悩みを聞いてくれる友人たちには感謝の気持ちでいっぱいです。こんな恵まれた環境の中で、ゆっくり、のんびり、二人の息子を育てています。今までの大変さも一瞬で忘れさせてくれる二人の笑顔を大切に、一步一步、一緒に大きく成長していけたらいいなと思っています。